

- ブレーキを濡れたままにしない
- ▲ 水によってブレーキの効き具合が悪くなる場合があります。洗車後は十分に乾かし、慎重なブレーキ操作を心がけてください。
- ワックス、ケミカル類や油脂類を扱うとき
- ▲ ブレーキやタイヤにオイル等の油脂類、ワックスやケミカル類が付着しないよう注意してください。ブレーキが効かなくなり、事故の原因になる場合があります。
- ▲ ワックスやケミカル類を使用するときは、ボディーの目立たないところでくもりや傷、色むらなどが生じないか確認してください。種類によっては塗膜が薄くなったり色むらが生じるものがあります。
- ▲ つや消し塗装が使われている場合は、塗装面にワックスやケミカル類を使用すると、つや消し感が無くなったり、色むらが生じるおそれがありますので、使用しないでください。
- ヘッドライトがくもったとき
- ▲ ヘッドライトを点灯すると、くもりは徐々に消えていきます。ヘッドライトの点灯は、エンジンをかけてながら行ってください。

アルミ部品

アルミ部品は土や泥、あるいは塩分によって腐食します。傷をつけないよう、取り扱いについては次のことに注意してください。

- 硬いブラシやスチールウールを使用しない
- アルミホイールはすり当てを避け、縁石などに乗り上げる際は変形に注意する

フェアリング、ウインドスクリーン

傷やひび割れ等を防ぐため、取り扱いについては次のことに注意してください。

- 清掃するときは多量の水を使って、やわらかい布やスポンジで汚れを落とす
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、十分な水で洗剤を洗い流す
- メーター、スクリーン、フェアリング、ヘッドライトレンズなどの樹脂部品にガソリン、ブレーキ液、クリーナーなどがかからないようにする
- スクリーンに貼付されているコーションラベルをはがさない